

[ NAKANOTO TOWN TOURISM ASSOCIATION NEWS ]

# 中能登町観光協会だより

つながりを大切に  
中能登町の観光・文化を守ろう

2024  
第7号  
令和6年12月発行



親王塚古墳 (小田中)

[[ がんばろう能登! ]] 観光協会役員から復興に向けてメッセージ

## 中能登町はつながりで復興!

# 中能登町はつながりで復興!



監事

● 岡島 昇

震災直後は茫然とするばかりでしたが、回りの人やボランティアの方々のご尽力に依り、なんとか生活出来る様になり、再建に向けて前向きに考えられる状況です。



監事 (中能登町商工会 事務局長)

● 甘田 悟司

震災で多くの事業者が被災されました。町商工会では各補助事業をフルに活用しながら、事業持続化に向けたサポートをしています。是非ご相談下さい。



理事 (中能登おにぎり縁むすびの会)

● 今町 衣里

会では避難所やボランティアセンターでの炊き出し、「中能登おにぎりまつり」を通して能登の復旧復興支援を行いました。長い道のりになりますが、皆さんで新しい能登を築いていきましょう。



理事 (碁石ヶ峰を護る会)

● 亀井 正秋

毎年1月1日に碁石ヶ峰の初日の出を拝む集いで温かい雑煮を来られた方に振る舞っております。令和7年1月1日は震災より1年。心を込めて作らせて頂きます。



理事 (碁石ヶ峰を護る会)

● 菊池 俊成

大変な一年でしたが、碁石ヶ峰の植樹祭などの通年行事が開催できました。1月1日元旦の「初日の出の集い」では、ご来光が拝める事を祈っています。

令和6年1月1日、石川県を突如襲った最大震度7の令和6年能登半島地震、その後の豪雨により被害を受けられた方々に心よりお見舞いとお悔やみを申し上げます。中能登町観光協会の役員より復興に向けてのメッセージを頂きました。  
※掲載順不同



会長

● 船木 清崇

中能登町内でも震災による影響がありましたが、今後、中能登町をはじめ、能登地区の関係団体との連携を深め、能登一丸となって地域振興と観光進行に努めて参りたいと思っております。



副会長

● 杉本 茂

5月に田植え、9月に稲刈りに千枚田へ行き、少し光明が見えたところに10月21日の豪雨災害に見舞われました。来年の作付等はどうなるのか大変心配していますが何とか前を向いて頑張りたいです。



副会長

● 亀井 公平

震災の影響が少なかったことで、能登でライフラインの安全な町をアピールして観光復興の後押しを。



相談役

● 村田 巨

私達「中能登まほろばロータリークラブ」のメンバーで1月2日から1月12日まで、毎日100食の「おむすび」と「お吸物」を中能登町の避難所へ差し入れし、喜ぶ顔を見ることができました。



写真提供/中能登町



理事

● 溝手 美代子

友の被災ボランティアの人々の情報を聞き、少しずつ安堵する。お礼に「ホタルてまり」の小さな光と夢がささやかな私の心のぬくもりとして又ボランティアの人に託す。



理事（雨の宮を護る会）

● 谷内 博

去る10月12日に雨の古墳があり、眉丈山の頂上まで大勢の方に来て頂きました。地域の太鼓、獅子舞など青空の中楽しい行事でした。ずっと続けて次世代にも伝えていってほしいものです。



理事（石動山を護る会 会長）

● 山本 一信

石動山は大宮坊の石垣は崩れる被害はあったが道路も通行できており、5月には石動山の史跡を訪ねる集い、10月には秋の集いを開催し沢山の方が訪れ、笑顔を見れた。



理事（不動滝を護る会 副会長）

● 吉田 健一

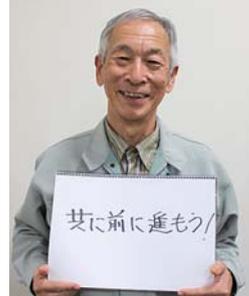
この度の地震災害に対し、心よりお見舞い申し上げます。当会に於いては休憩所の床の一部の降起が発生しましたが、次回の祭事までに対処し今後も皆さまをお迎えする予定です。



理事

● 領家 優

コロナ禍で休止していた高皇獅子舞を復活させた矢先の震災で再度自粛を余儀なくされ、溜ったマグマが先般の秋祭で噴出。小学生女子から成人まで獅子舞をシメに舞った。



理事

● 久保 勝康

この度の震災に際し、各種のボランティアの方々よりご支援を承り本当に有難く思っています。感謝！



理事（雨の宮を護る会）

● 佐近 清一

雨の宮古墳祭りの開催直前まで、林道は通行止めされておりましたが、無事、震災復興に向けて古墳祭りが開催できたことを大変嬉しく思います。



理事（鵜様道中の宿保存会 会長）

● 杉本 栄蔵

能登地域復興そして鵜様道中行事が将来にわたり広く人々に継承されることを願い、10月27日に「国重要無形民俗文化財25周年記念事業 氣多の鵜祭の習俗」を開催しました。今後も地域の大切なこの行事を深く町民の皆様へ受け継がれていくことを望みます。



理事

● 清水 雅夫

家が新しくお陰で被害は小さかったが柱が折れそうな揺れには恐怖で動けなかった。家の倒れた方はもっと怖かった事でしょう。お察し申します。もうすぐ1年が経ちますが、未だに手つかずの家を見る度に心が痛みます。



理事

● 清水 洋子

主人の仕事の関係であちこちに住みました。地震にも数多くあいました。田舎に帰って来たら又地震。我が家に被害は小さかったけど、あの揺れの怖さは死んでも忘れません。

## 観光地に花いっぱい

- 令和6年6月29日(土) 不動滝 プランター花植え
- 令和6年7月6日(土) 碁石ヶ峰 紅葉の植樹
- 令和6年10月5日(土) 雨の宮古墳周辺 プランター花植え



地震の爪痕が残る観光地を花いっぱいにするため、不動滝、碁石ヶ峰、雨の宮古墳に、地元の観光活動団体や鹿西高校とも連携しながら、花いっぱいボランティアを行いました。作業前には、能登半島地震の被災状況も紹介しながら、SNSなどに情報発信するためのセミナーも行われました。参加者は活動を通じて、温かい気持ちになり、能登の復興の一役になればと話していました。

## もしも・食 震災時に役立つ 料理教室

■令和6年8月24日(土) ラビア鹿島

震災時に役立つ料理教室が行われ、親子ら60人が参加しました。断水で電気が使える想定で行われ、パスタの麺や白米、卵などをポリ袋に入れて湯せんし、少量の水で簡単に作れるパスタやオムライスを作るレシピを学びました。講師には、発酵食おうちごはんアドバイザーの原田亜希子さん(井田)とクックパッドアンバサダー2023を努める柿島悠美さん(七尾市)の2人が指導し、鹿西高校の生徒も協力しました。



中能登町観光協会  
視察研修

## 2024 どぶらぶフェスタ in 京都

西日本のどぶろくを楽しむ!

■令和6年10月26日(土) 京都市 岡崎庵

10月26日のどぶろくの日と併せて、どぶろくと日本酒を後世に伝える活動をしている「どぶろくラーヴァーズ」主催によるイベントが行われ、能登半島地震による石川県応援として、町観光協会が招かれ、中能登町のどぶろくのアピールをしてきました。会場では、全国から訪れた生産者のどぶろくを楽しみながら交流を図り、中能登町からは、地震の被災状況や全国どぶろく研究大会の呼びかけを行いました。



鶺鴒のつながり  
お水送りとお水取りを学ぶ  
■令和6年10月22日(火) 泊2日 福井県小浜市・奈良県奈良市

「氣多の鶺鴒祭の習俗」が重要無形民俗文化財に指定されて25周年ということで、鶺鴒にまつわる「お水取り」の儀式的勉強をするため小浜市と東大寺を視察し、中能登町の重要無形民俗文化財である歴史遺産を後世に伝えていく手段を探ってみることができました。中能登町の「親王塚古墳」は崇神天皇の皇子の古墳と言われており、崇神天皇陵も視察をしてきました。東大寺の執事長上司永照様のご高話は歴史による町起こしの参考となりました。



中能登町観光協会 Tel.0767-76-8000 (道の駅 織姫の里なかのと)

〒929-1721 石川県鹿島郡中能登町井田ぬ部10番地1  
ホームページ <https://nakanotokanko.com/>  
メール nakanotokankou2005@gmail.com

[中能登町観光協会ホームページ] →  
右の2次元バーコードを読み取ってください

中能登町観光協会

検索



2025年度版

中能登町観光協会  
カレンダーが完成!

